



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和6年7月 19 日
つばさだより 第5号

いろんな変化と成長の前期・ここまで

今年も猛暑の夏がやってきました。いよいよ夏休みまでのカウントダウンも始まり、子供たちとの話題の中にも「夏休み」関連の言葉が増えています。4月からの様々な時間、進級や行事、学校生活等々。大人目線では「長い長い一学期、いろんな成長があったね」となるのですが、当の子供たちはどのように感じてきたのかなあとと思います。大人と異なる時間軸をもつ子供たち。1日、1週間の時間も振り返るには遙か遠い昔のことに感じているのかもしれませんが、ただ、そうした中でも、出来たことを子供たちと共有すると、「そうだったなあ」「そんなことあったっけ!?!」「それは確かにできるようになってきた」と自分の成長について気付く場面もあります。できたことを整理し、価値付けていくことで自分への自信にもつながっていく 4月からの学校生活をまとめていくそんな夏休み直前です。

「夏休み」楽しみと憂いと・・・でも大丈夫!

約1ヶ月少しの長い休みが始まります。子供たちは「たのしみ!」と期待を膨らませているようです。ただ、その一方で、現実的な問題としての憂いを感じているようでもあります。大きく出てきたのは2点。1点目は「宿題」です。「まあ大丈夫と思う」と前向きに捉えている子もいますが、「宿題」に不安を抱えている子もいます。予定を立ててみたものの、予定どおりにいかないこと。宿題の内容や、量の見通しをもつことが苦手なことなどもあるかもしれませんね。つばさ教室からは「なるべく柔軟に対応できればいい」「100点満点でなくていい。」そんなスタンスで必要に応じてお子様への「支援」をお願いしたいと思います。「支援」の形は子供によって異なるとも思いますが、「宿題」に必要な以上に重きを置かずに気軽に向き合っていって欲しいと思います。(そうはいつても)何か不安や心配なときはご相談ください。2点目は「休みが長すぎて、学校に行きたくなくなったらどうしよう」というものです。これには「そうだよね~!」と大人側も力強く同意してしまいました。夏休みが終わる週のことを考えると出てくる「心配」や「不安」。これは子供だけでなく大人にもあるものです。こうした声を上げてくれた子には、そうした気持ちを共有しつつ「必要以上に心配しなくてもいいよ」ということ。夏休み終盤にそうした気持ちが強いときは「相談」していいし、「相談」すればなんとかなる。という点を伝えました。ともあれ、夏休みです。たくさん楽しい思い出を作って、またみんなで共有していくそんなことも楽しみにしたいと思います。安全に健康に気を付けて夏休みをお過ごしください。

夏のつばさ文庫・絵本紹介 「まほうの夏」
作 藤原一枝・はたこうしろう 絵 はたこうしろう

都会で暮らす兄弟の夏休み。「あ~あ、なんか楽しいことはないかなあ。」お母さんの田舎へ遊びにいけることとなった兄弟。虫取り、夕立、海水浴、釣り。どれもこれも素敵な思い出に。ひと夏の魔法のような体験を楽しめる本です。



「まほうの夏」

作 藤原一枝・はたこうしろう 絵 はたこうしろう

都会で暮らす兄弟の夏休み。「あ～あ、なんか楽しいことはないかなあ。」お母さんの田舎へ遊びにいけることとなった兄弟。虫取り、夕立、海水浴、釣り。どれもこれも素敵な思い出に。ひと夏の魔法

夏のつばさ文庫・絵本紹介

「まほうの夏」

作 藤原一枝・はたこうしろう 絵 はたこうしろう

都会で暮らす兄弟の夏休み。「あ～あ、なんか楽しいことはないかなあ。」お母さんの田舎へ遊びにいけることとなった兄弟。虫取り、夕立、海水浴、釣り。どれもこれも素敵な思い出に。ひと夏の魔法のような体験を楽しめる本です。

ちこの話題等々。大人うに感じてには遥か遠

今年も猛暑の夏がやの中にも「夏休み」関目線では「長い長い一きたのかなあと思いまい昔のこのように感じ

ると、「そうだったなあ」「そんなことあったっけ!?!」「それは確かにできるようになってきた」と成長を反すうする場面もあります。できたことを整理し、価値づけていくことで自分への自信にもつながっていく4月からの学校生活をまとめていくそんな夏休み直前です。

「夏休み」楽しみと憂いと・・・

約1ヶ月少しの長い休みが始まります。子供達は「たのしみ!」と期待を膨らませているようです。ただ、その一方で、現実的な問題としての憂いを感じているようでもあります。大きく出てきたのは2点。一つ目は「宿題」です。「まあ大丈夫と思う」と前向きに捉えている子もいますが、「宿題」に不安を抱えている子もいます。予定を立ててみたものの、予定通りにいかないこと。宿題の内容や、量の見通しをもつことが苦手なことなどもあるかもしれませんね。つばさ教室からは「なるべく柔軟に対応できればいい」「100点満点でなくていい。」そんなスタンスで必要に応じてお子様への「支援」をお願いしたいです。「支援」の形は子供によって異なると思いますが、「宿題」に必要以上に重きを置かずに気軽に向き合っていって欲しいと思います。(そうはいっても)何か不安や心配なときはご相談ください。二つ目は「休みが長すぎて、学校に行きたくなかったらどうしよう」というものです。これには「そうだよね~!」と大人側も力強く同意してしまいました。夏休みが終わる週のことを考えると出てくる「心配」や「不安」。これは子供だけでなく大人にもあるものです。こうした声を上げてくれた子には、そうした気持ちを共有しつつ「必要以上に心配しなくてもいいよ」ということ。夏休み終盤にそうした気持ちが強いときは「相談」していいという点を伝えました。ともあれ、夏休みです。たくさん楽しい思い出を作って、またみんなで共有していくそんなことも楽しみにしたいと思います。安全に健康に気を付けて夏休みをお過ごしください。